



議会だより

たちばな

第78号

令和3年10月臨時会（第7回）

令和3年12月定例会（第8回）



成人おめでとうございます。

もくじ

- 10月臨時会のあらまし・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
- 12月定例会のあらまし・決算認定、特別会計、企業会計決算審査報告P3～P5
- 各委員会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P6
- 第7回臨時会・第8回定例会の議決結果・・・・・・・・P7
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8～P13
- シリーズ「高原での暮らしはどげんじゃひか？」・・・・P14

※議会傍聴をしてみませんか。

次の議会定例会は、3月9日開会予定です。
傍聴などについてのお問い合わせは、議会事務局
局にお気軽にお尋ねください。

電話 0984-42-5138（直通）

今年もよろしくお願いします。



10月臨時会のあらまし 第7回 臨時会(令和3年10月22日)



令和3年10月22日臨時会は、令和3年度一般会計補正予算3件と町長、副町長及び教育長の給与減額に関する条例改正が上程され、すべて可決しました。

各種補正予算の主な内容

- ◇専決第16号 令和3年度高原町一般会計補正予算(第12号)
 - ・新型コロナウイルス感染症対策事業(事業者収入減対策事業補助金)
・・・・・・・・6,000千円
- ◇専決第17号 令和3年度高原町一般会計補正予算(第13号)
 - ・新型コロナウイルスワクチン接種事業・・・・・・・・54,253千円
 - ・公共土木施設災害復旧費(現年災害)委託料・・・・・・・・4,000千円
- ◇議案第57号 令和3年度高原町一般会計補正予算(第14号)
 - ・高原町支援対象児童等見守り強化事業委託料・・・・・・・・9,723千円

12月定例議会のあらまし

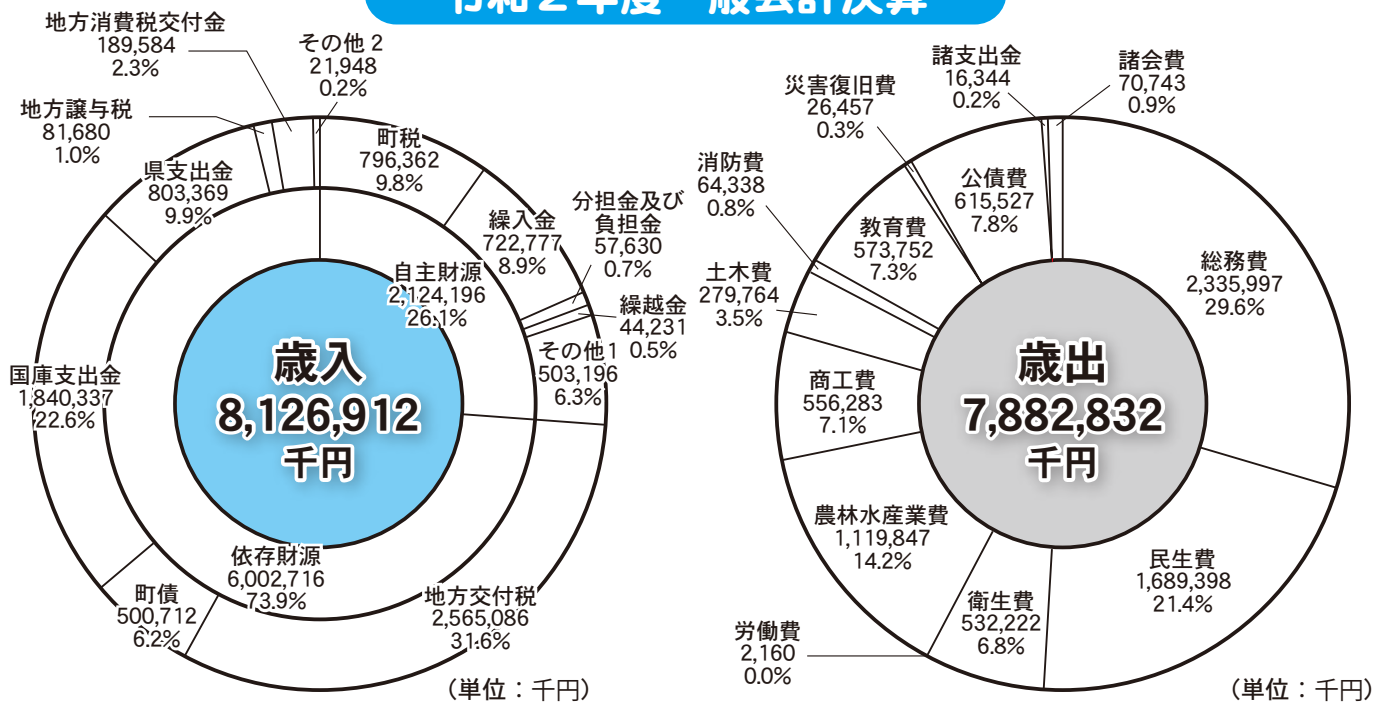
第8回 定例会(令和3年12月8日～12月15日)

令和3年12月定例会は、12月8日に招集され、12月15日までの8日間の日程で開催されました。

今定例会は、閉会中審査となっていた令和2年度の一般会計歳入歳出決算認定、特別会計決算及び公営企業会計決算の認定をはじめとして、令和3年度補正予算7件、人事案件2件、条例改正4件、その他2件の審議を行い、いずれも提案のとおり可決しました。

また、議員発議として特別委員会設置に関する決議1件を採択しました。

令和2年度一般会計決算



※構成比は、四捨五入の関係で合計額が100にならない場合があります。

令和2年度決算の歳入総額は81億2,691万2千円で、前年度と比較して2億2,866万2千円(2.9%)の増、歳出総額は78億8,283万2千円で、前年度と比較して7,881万2千円(1.0%)の増となりました。

歳入歳出差引き残高は2億4,408万円、実質収支額は翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた9,267万9千円となっています。

各特別会計と工業用水道事業会計決算

単位(円)

区 分		歳 入	歳 出	差引残高
高原町住宅新築資金等貸付事業		989,584	988,820	764
高原町農業集落排水事業		30,674,672	25,358,034	5,316,638
高原町国民健康保険		1,462,007,700	1,449,601,233	12,406,467
高原町 介護保険事業	保険事業勘定	1,341,965,547	1,289,763,079	52,202,468
	サービス事業勘定	7,765,941	4,515,546	3,250,395
高原町後期高齢者医療		315,861,278	308,633,346	7,227,932
高原町工業用水道事業会計		1,979,224	1,979,224	0

※工業用水道事業会計については、資本的収入及び支出の決算額

決算審査報告

○認定第1号 令和2年度高原町一般会計歳入歳出決算認定についての委員会意見

(一般会計予算・決算常任委員会)

令和2年度は、未曾有の災害とも言える新型コロナウイルス感染症の脅威にさらされ、農畜産業を始め、観光業・飲食業などの事業者にとって大打撃を受けた1年であったと言える。国の緊急経済対策も十分な効果があったとは言えず、経済回復に至るまでは、まだまだ道半ばと言える。そのような厳しい状況の中にあっても、適切に予算執行がなされたものと評価できる。

なお、本町においては、新型コロナウイルス感染症対策はもとより、地方創生、雇用対策、防災・減災対策やデジタル化の実現とともに、社会保障等への対応に迫られており、今後も気を緩めることなく、町発展のために職員一丸となって立ち向かって行かれることを強く望む。

○議案第54号 令和2年度高原町水道事業利益の処分及び決算認定についての委員会意見

(総務経済常任委員会)

水道料の未収金については、令和3年6月30日現在で、214人の198万6,290円となっており、未納者数と未納額ともに増加している。受益者間負担の公平性を確保し、今後とも健全経営を図り、安心、安全な水の供給に努められたい。

○認定第4号 令和2年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定についての委員会意見

(文教厚生常任委員会)

一人あたりの医療費は43万8,879円と県内の高い方から7番目であり、県内市町村平均39万7,778円を上回っている。今後も高齢化への移行による保険給付費は増加するものと見込まれ、依然として厳しい収支の状況にある。

そのような中、財政運営の責任主体となった県との方向性を共有しつつ、滞納者への徴収努力をはじめ、医療費抑制につながる健康づくりの推進、社会保険制度としての負担の公平性を確保し、財政健全化を図るためにも、なお一層の徴収率向上に努められたい。

○認定第7号 令和2年度高原町病院事業決算認定についての委員会意見

(文教厚生常任委員会)

令和2年度の高原町病院事業の経営は、新型コロナウイルス感染症対策に係る国・県からの補助金を受け入れたことにより、一般会計からの基準外繰入はなく、損益計算書においては純利益が計上されているが、一企業経営体としては依然危機的な状況である。継続的な医師確保対策や人件費の適正化、その他経費のコスト削減に踏み込まれ、新型コロナウイルス感染症への対応を含めた地域医療提供体制の保持整備により、医療サービスを提供しながら健全化へ取り組まれることを切に要望する。



▲御池皇子港園地進入路（現地調査）



▲並木旭台線舗装補修工事（現地調査）

企業会計決算審査報告

◇議案第54号 高原町水道事業利益の処分及び決算認定について

水道事業は営業収益が1億6,960万8,527円、営業費用が1億5,612万8,239円で、1,348万288円の営業利益となっています。営業外収益は2,284万3,741円で営業外費用が1,391万2,362円、営業外利益は893万1,379円となっています。資本的収入の合計が2,475万2,383円、資本的支出の合計が1億659万5,182円となり、不足する額8,184万2,799円は損益勘定留保資金（過年度分・当年度分）858万2,155円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額435万7,198円、建設改良積立金890万3,446円で補てんされています。

◇認定第7号 令和2年度高原町病院事業決算認定について

医業収益は6億194万733円で、医業費用が9億1,816万9,068円、医業損失が3億1,622万8,335円となっています。医業外収益の他会計負担金1億3,310万3,204円、新型コロナウイルス感染対策に係る国・県からの補助金2億192万6,000円や、退職給付引当金の戻入益5,861万2,610円が特別利益に計上されたことから、6,588万4,848円の純利益計上となっています。資本的収入は4,428万261円、資本的支出は7,932万750円で、資本的収入額が資本的支出額に不足する額3,504万489円は、過年度分損益勘定留保資金3,479万5,670円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額24万4,819円で補てんされています。

12月定例会 主な内容

◇専決第18号 令和3年度高原町一般会計補正予算（第15号）

- ・子育て世帯への臨時特別給付金支援事業・・・・・・・・・・・・・64,162千円
- ・たかはる宿泊施設利用助成事業・・・・・・・・・・・・・4,200千円

◇議案第64号 令和3年度高原町一般会計補正予算（第16号）

- ・地域交通機関運行維持対策補助金・・・・・・・・・・・・・430千円
- ・通信環境整備事業（御池キャンプ村）・・・・・・・・・・・・・18,216千円
- ・障害者自立支援医療費（扶助費）・・・・・・・・・・・・・4,740千円
- ・障害者介護給付・訓練等給付費・・・・・・・・・・・・・26,735千円
- ・児童手当・・・・・・・・・・・・・2,711千円
- ・霧島美化センター事業（償還金、利子及び割引料）・・・・・・・・・・・・・67,492千円
- ・みやざき特産野菜価格安定対策事業補助金・・・・・・・・・・・・・875千円
- ・高原町創業・起業支援事業補助金・・・・・・・・・・・・・1,800千円
- ・宮崎フリーウェイ工業団地立地促進補助金・・・・・・・・・・・・・6,150千円
- ・町道改良事業費・・・・・・・・・・・・・1,952千円
- ・新型コロナウイルス感染症対策事業・・・・・・・・・・・・・650千円
- ・高原町立小中学校施設整備事業・・・・・・・・・・・・・15,000千円
- ・一般コミュニティ助成事業補助金・・・・・・・・・・・・・1,200千円
- ・高原町公共施設等整備基金への積立金・・・・・・・・・・・・・50,481千円
- ・「神武の里たかはる」まち・ひと・しごと推進基金への積立金・・・・・・・・・・・・・6,300千円
（企業版ふるさと納税による寄附金を次年度以降に活用するためのものです。）

◇議案第65号 令和3年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

- ・高齢者生きがい活動促進事業・・・・・・・・・・・・・994千円

◇議案第68号 令和3年度高原町病院事業会計補正予算（第2号）

- ・病院事業収益（補助金）・・・・・・・・・・・・・30,009千円

◇議案第69号 令和3年度高原町一般会計補正予算（第17号）

- ・子育て世帯への臨時特別給付金支援事業・・・・・・・・・・・・・6,200万円
- 追加されたことにより、高校生までの子どもがいる世帯に、1人当たり10万円を給付することになりました。

委員会報告

○発委第3号・・・高原病院に関する特別委員会の名称及び目的の変更について、高原病院、学校及び庁舎をはじめとする公共施設等の今後の整備や在り方等調査研究を行うため、「高原病院改革特別委員会」を「公共施設の在り方検討特別委員会」に改めました。

総務経済常任委員会の所管事務調査

○実施日 令和3年11月11日（木） 出席者 17名

○調査内容 建設業関係者との意見交換会

○考察

コロナ禍での現状については、民間建物等の受注減や工事資材の納入遅れによる、工期延長に伴い、経費の増などが見られ影響が多くあった。

後継者や担い手（技術者）については、小規模事業者ならではの身内後継者育成の難しさや、若手就労不足と高齢化問題に苦慮されていた。また、専門技術者育成の為、西諸管内の小林秀峰高校等の専門技術者養成学校の新設を強く要望された。

公共工事発注については、年間を通しての工事発注を希望され、また、工事検査方法の在り方や工事経費増額などの配慮を強く望まれた。

災害時の対応については、業者不足による取り組みの遅れや、業界組織機能への在り方等により、行政による住民の初期自助能力を望む声が聞かれた。

今回の意見交換会を受けて、建設業関係者からは、事前のアンケート調査の実施や、開催時期等を考慮し、継続を望まれた。

以上のことから、地域事業者の育成や支援継続に向けて、各関係機関との連携を図りながら引き続き施策提言に取り組んでいきたい。



文教厚生常任委員会の所管事務調査

○実施日 令和3年11月16日（水）

○研修内容

公認心理師・臨床心理士 勝吉 恵美子氏をお招きし、発達障害とはどういうことか、初歩的分野から研修をおこなった。

○考察

生まれつき、備わっている脳の特性を見ると著名人も発達障害であったと公表している人もいる。困っていれば「障害」、困っていなければ「個性」でありこの事実をどのように受け止めるかであった。

発達障害について、わかりやすく、理解しやすい説明を受け、今後の議会活動に活かせる講演であった。公認心理師との意見交換を通して、発達障害の現状を調査研究し、今後、発達障害に関する未就学児、児童、生徒の福祉・教育分野施策への提言等に生かしていきたい。



公平委員会の委員の選任

○相良 績さん……再任

○福元 孝一さん……新任



令和3年 第7回臨時会議議決結果

議案番号	件名	議決結果	①陣圭介	②反田吉己	③松元茂春	④中村昇	⑤温水宜昭	⑥福澤卓志	⑦末永充	⑧入佐廣登	⑨前原淳一	⑩温谷文雄
承認第13号	専決処分について（専決第16号） 令和3年度高原町一般会計補正予算（第12号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
承認第14号	専決処分について（専決第17号） 令和3年度高原町一般会計補正予算（第13号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第56号	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	●	●	○	○	●	—
議案第57号	令和3年度高原町一般会計補正予算（第14号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

令和3年 第8回定例会議議決結果

議案番号	件名	議決結果	陣圭介	反田吉己	松元茂春	中村昇	温水宜昭	福澤卓志	末永充	入佐廣登	前原淳一	温谷文雄
認定第1号	令和2年度高原町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第2号	令和2年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第3号	令和2年度高原町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第4号	令和2年度高原町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	●	—
認定第5号	令和2年度高原町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第6号	令和2年度高原町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	棄	○	○	●	○	○	○	○	○	—
認定第7号	令和2年度高原町病院事業決算認定について	認定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
認定第8号	令和2年度高原町工業用水道事業決算認定について	認定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号	公平委員会の委員の選出について（相良 績）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号	公平委員会の委員の選出について（福元 孝一）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号	令和3年度高原町一般会計補正予算（第15号）	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第54号	令和2年度高原町水道事業利益の処分及び決算認定について	可決 可決 及定	棄	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第58号	高原町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第59号	学校基金の設置・管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第60号	高原町環境保全条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第61号	「神武の里たかはる」のまち・ひと・しごと推進基金条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第62号	指定管理者の指定について（狭野保育所・後川内保育所・広原保育所）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第63号	指定管理者の指定について（高原町林業野外活動施設・高原町皇子原公園・高原町御池キャンプ村）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第64号	令和3年度高原町一般会計補正予算（第16号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第65号	令和3年度高原町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第66号	令和3年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第67号	令和3年度高原町水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第68号	令和3年度高原町病院事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第69号	令和3年度高原町一般会計補正予算（第17号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発第3号	高原病院に関する特別委員会設置に関する決議の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発第3号	租税特別措置法第八十九条の施行に関する法整備を求める意見書	否決	○	○	●	○	●	●	●	●	●	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席



商工業の振興について



すえなが みつる
末永 充議員

所の増設等の誘導も含め、企業誘致活動を行っている。

問 地域商社の設立予定は。

○農産物の販売について
問 交通アクセス等を活かした産業の振興をどのように行うのか。

答 事業者・農業者の売上向上を図る「農畜産物を主軸にした新商品開発」や、「情報発信や販路開拓を見据えた民間事業者とのマッチング」を行う。

問 雇用の創出はどのように行われているのか。

答 本町誘致企業は、15業者で365名の雇用が生まれている。既存事業

マン（重要人物）の創出に向けた仕掛けづくりを進める。

○工業団地について

問 工業団地内の環境整備は、どのような形態で実施するのか。

答 法面の除草作業などの管理においては、進出企業の取得用地に接する面は企業側で、歩道等に接する面は高原町で管理する。未分譲地に係る分は宮崎県で行う。

問 町道脇の未舗装部分はどうするのか。

答 工業団地内の道路や歩道の安全確保と未舗装部分の改善等に努める。



▲工業団地内の道路脇の未舗装部分

問 企業との管理規定はどのようにしているのか。

答 企業の方や地域住民の方も含め多く利用されており、必要な安全対策を講じている。令和2年度に、宮崎県と連携して排水路整備工事も行い、水路のかさ上げ工事や防護柵工事を行っている。

○教育環境整備

問 小学校整備の基本構想及び設計の進め方は。

答 建設する際の条件等、建設にあたっての考え方を整理した「基本構想」を本年度中に策定する。次に基本計画をもとに基本設計図を作成し、建設に係る概算金額を積算する基本設計を行う。今定例会にて、高原町立小学校施設整備事業基本計画等策定業務として1千500万円を計上している。

問 住民説明会は、いつ実施するのか。

答 公のたてもの等整備検討委員会に小学校建設地や庁舎建設地等の町の方針を支持頂いた。今回、基本計画策定業務が進められると5月に住民説明会を実施する。



町民に十分な説明を



なかむら のぼる
中村 昇議員

○政治姿勢について

問 学校統廃合について

教育委員会の基本方針には、児童・生徒の保護者と地域住民に、十分に協議を重ねて統合をすすめる点がある。また町立病院の規模縮小についてどのように変わるのか、不安を持つ町民もおられると思う。今後、町民にどのように説明されるのか。

答 2期目の公約などについて説明したい。時期

は来年5月以降に各地区で座談会形式で行いたい。保護者については別途学校で行う。

問 「学校のあり方検討」に関するアンケート結果

では各小中学校とも約半数以上が統合をすすめるべきとある一方、すすめるべきではないが2割以上ある。また統合の時期については「保護者や地域の機運が高まってから」が46%あり、丁寧な説明が必要ではないか。

答 子どもたちの教育環境を良くしたい思いがあるので、きめ細かな、丁寧な説明をしたい。

答 子どもたちの教育環境を良くしたい思いがあるので、きめ細かな、丁寧な説明をしたい。



▲広原小学校

○町立病院について

問 町立病院の経営改革

として経営規模の縮小をすすめることされているが、どのような対応を考えているか。

答 令和4年4月より現

在の56床から17床を休床し、39床とする。このうち10床をコロナ病床とする。町民には十分な周知を行う、医療体制への影響はないと考える。

問 17休床で交付税はどう変わるか。看護師について

答 交付税算定が令和3年から許可病床から稼働病床（最大使用病床数）になり、約2千100万円の減収になる。看護師については病床での一定の見直しが必要と考えるが、コロナ禍においては、慎重な対応が必要。

問 少子化対策

公約の子育てにかかると経済的負担ゼロの実現については。

答 国保の均等割りについて来年度から未就学児を国が2分の1を負担するため、残りをできないか前向きに実行したい。

○教育行政

問 町民体育館分館は、

国の登録有形文化財となったが、耐震化の計画は。

答 現状では優先的な整備に至らないことから、耐震化が終了するまで使用制限を行いたい。

問 小学校副読本の水路

路開発のところで、「鹿児島県」からが抜けており、史実に基づき正確に教える必要があるのでは。

答 修正を行う。





HPVワクチン接種の積極勧奨が再開



じん 陣 けいすけ 圭 議員 主介

○町長の政治姿勢

問 課の再編について考えは。

答 業務量の不均衡について、検証する必要がある。副町長、各課長等からの聞き取りを行いながら適正配置に努める。

問 スクラップアンドビルドの考えは。

答 大型の事業が予定され、財源の確保が大きな課題。スクラップの徹底、十分精査した事業見直しを行っていく。



▲二葉団地

○公営住宅

問 定期点検は。

答 建物内に入る点検等は実施していないが、今後の課題。修繕も、どのようなやり方が効果的か検討したい。

○HPVワクチン

問 定期接種としての勧奨を行うこととされた。

今後の対応は。

答 令和4年4月から勧奨を実施する。個別通知内容を見直し、改訂後のリーフレットを同封する。これまで個別勧奨を行っていない令和4年度に14歳～16歳になる女子についても、西諸医師会、小林市、えびの市と協議を行いながら対応したい。



○通学路の安全対策

問 通学路に街灯が設置されていない箇所への対応は。

答 危険箇所調査での指摘があった箇所は、随時必要性を判断しながら進めていきたい。指摘を受けていながら実現していないところも柔軟に検討する。



○公共工事

問 工期の平準化に関し、検討し取り組んできた内容は。

答 工事実施の前年度に測量設計等業務委託の発

注や「繰越明許費」の設定により、次年度の早い段階での発注に取り組んでいる。

○指定管理者制度

問 指定管理者制度活用

答 「経費節減」としては、行財政改革という点からも最大の効果をあげているとは言えないが、住民サービスの向上という観点からは、民間のサービスノウハウ等の蓄積が進み一定の成果はあがっていると判断する。指定管理者制度は、あくまでも手段に過ぎず、今後



後期高齢者支援の拡大を



ふくざわ たくじ
福澤 卓志 議員

問 はり、きゅう、マツサージ等施設料助成限度の拡大ができないか。

答 検討していく。

問 町内の治療院数は。

答 4カ所。

問 受療証発行者数は。

答 111名。



○教育行政

問 タブレット端末活用頻度は。

答 月4時間程度だったのが40時間に、週1回の

使用が5回に増えた。

問 ICT支援員は。

答 ICT支援員はいないが、Gigaスクールサポーター1名で各学校を巡回している。

問 タブレット端末は自宅で使用できるか。

答 今はまだ行っていない。自宅のネット環境や通信料金等の問題、利用に関するルールなどクリアすべき問題があるが、できるだけ早く対応していく。

問 本町のキャリア教育は。

答 職業講話と職場体験を行いながら、商工会と社会教育指導員の協力により開拓もおこなっている。



▲子ども未来議会の様子

る。

問 子ども未来議会の配信は。

答 行っていないが、DVDを各学校に配布した。

問 子ども議員提案の履行は。

答 お昼の町民歌の放送、マスコットキャラクターの挨拶運動参加など。

○農林行政

問 山林面積は。

答 国有林2千008ha、町・民有林2千193ha。

問 伐採面積は。

答 令和元年主伐69・7ha間伐11・44ha、令和2年主伐45ha間伐4ha、令和3年主伐46ha（11月現在）。

問 伐採による災害は。

答 近年は起こっていない。

問 伐採後に災害が起きた時の対応は。

答 災害復旧等の対象にならない。伐採後は伐採パトロールを行っている。

問 林業の在り方等支援は。

答 森林経営管理法などの対処には、林業事業体と連携しながら取り組んでいく。

問 自抜型林業が有益だと伺った。勉強会や研修会が必要では。

答 開催に努める。

問 公の施設建設のために町有林の伐採・植林計画が必要では。

答 計画を立てていく。



○人材育成

問 職員研修費用は。

答 2百3万7千円。

問 職員の研修機会は。

答 34歳まで約12年間研修の機会がある。35歳以上は年1回研修を行う。



きめ細やかな情報発信を



ぬくみず よしあき
温水 宜昭議員

○政治姿勢について

問 町民の声を反映した町政運営や役場の機能アップは。

答 町民の声を直接聞き、あらゆる情報を通じて丁寧な説明を行っていく。また、相談しやすい職場環境づくりに努める。

○コロナワクチン接種事業について

問 接種状況は。

答 12歳以上の接種率（1回目88・49%、2回

目84・27%）。

問 3回目の接種開始と完了予定は。

答 令和3年12月14日開始、令和4年7月から8月頃完了見込み。

問 5歳から11歳の接種計画は。

答 令和4年2月から接種予定。



▲3回目ワクチン接種に向けて

○商工観光について

問 事業承継支援の取り組みは。

答 2件のマッチング成立、今後ネット等で強化を図る。

問 関係人口創出への取り組みは。

答 令和4年度に民間の活力を生かし、高原町地域商社設立予定であり、商品やツアー開発を通して関係人口創出を目指す。

問 国立公園満喫プロジェクト事業の取り組みは。

答 周遊バス運行を実施中で町内外の誘客促進に努めており、継続的に取り組んでいきたい。

問 御池の整備状況は。

答 皇子港進入道路や駐

車場整備を今年度中に完了予定。休憩所（飲食店）建設は民間事業者で検討中。

問 皇子原公園の整備状況は。

答 神武の館内に室内木製遊具の部屋やカフェがオープンした。また、公園内に屋根付き大型木製遊具施設を建設中である。



▲大型木製遊具施設建設中

○町立病院の経営改革について

問 規模縮小の経緯は。

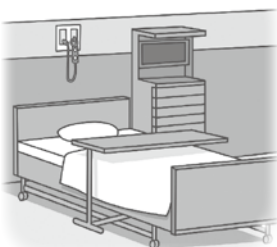
答 町民の様々な声を聞き、どのような形で病院を残すかを考えた。

問 規模縮小の範囲は。

答 入院患者等の減少に伴い、令和4年度からベッド数56床を39床（一般病床29床、コロナ病床10床）へ17床休止を予定している。

問 今後のプロセスは。

答 公立病院としての存続を決意し、住民への説明を行いながら課題解消へ向けて、あらゆる手段を講じていく。





畑作営農の推進は何を基幹とするのか



まえはら じゅんいち
前原 淳一議員

い関連事業を進めており、
今後も神話、伝説、伝統
行事等を活用した観光客
誘致を進める。

○デマンド交通

問 どのような形での導
入を考えているか。

答 地元と調整をしなが
ら、他の自治体事例も調
査し早期構築を目指す。

○小学校建設

問 考えに変化はないか。
答 公の建物等整備検討
委員会の答申に沿った環
境整備をしていく。

○町立病院

問 眼科創設の考えは。
答 医師確保等可能か検

討する。

○特定外来生物

・ジャンボタニシ

問 防除対策は。

答 地域ぐるみによる防
除や、新規発生地域での
被害軽減に取り組んでい
る。

・イネクロカメムシ

問 大量に発生してから では遅い。

答 確認されたら、大量
発生につながるよう
周知をしていく。



▲イネクロカメムシ

・コモチカワツボ

問 生殖機能が失われる ことで虫がいなくなる。

答 長靴や網類の乾燥、
加熱消毒により除去する
ことを周知していく。

・オオキンケイギク

問 放置されているので

答 更なる啓発を行って
いく。

○環境整備

問 ボランティアが刈り
取った草木の処分は。

答 少量の場合は一般廃
棄物として収集処理を行
い、多量の場合は一任し
ている。

問 すぐやる課あるいは
係の設置は。

答 予定はない。

○養鶏業者支援

問 防護ネット及び機械
器具導入の補助状況は。

答 国の事業等を活用し、
鶏舎や資機材の整備、高
病原性鳥インフルエンザ
対策のための助成や消石
灰の配布を行っている。

問 高病原性鳥インフル エンザ発生時の支援は。

答 発生農家には、経営
再開のための資金の融資
があり、万一に備え家畜
防疫互助基金支援事業も
ある。搬出制限や、移動
制限を受けた農家につい
ては、売上減少、飼料費、
輸送費等の増加額を国と
県が全額助成する。



ようこそ高原町へ シリーズ③

高原での暮らしは、どげんじゃひか？

◆◆◆ 山崎 聡さんファミリー ◆◆◆



ようこそ
高原町へ

○移住のきっかけを教えてください。

東京で約30年間、その中で自然環境が豊かなあきる野市で10年ほど生活をしました。東京とは思えない里山で野菜や米を作ったりしながら地域の人たちとの交流を経験し、理想的な暮らしだと感じていました。しかし通勤に片道1時間半かかることや、仕事柄時間が不規則になるので、心身ともに健康に過ごすことを考えて宮崎の実家の都合などもあり予定より10年早く移住を決めました。

○実際に高原町に住んでみていかがですか？

生活する上で特に不便を感じることはありません。出身が兵庫県で六甲山系の麓で育ったせいか平野部が苦手な近くに山がある所が落ち着きます。それ故に霧島連山が見渡せる高原町は住み心地がとても良いです。最近では宮崎から高原に向かっている途中だんだん高千穂峰が近づいてくるのを見ると帰ってきたと実感するようになりました。



○移住してよかったことは？

今までとは全く違う仕事を始めて日々勉強中なのですが、周りにいる方々それぞれ自分にはないスキルを持っていて教えてくれるので生活する力がついたように思います。あとは近くに温泉があり肉、野菜、米などが（お酒も）美味しいので疲れていてもすぐに回復できます。

○高原町に来て驚いたことは？

思っていた以上に言葉の聞き取りが難しくて苦労しています。単語自体も違ったり、わりと早口で語尾を省略したりするので今でも理解できないことが多いです。同じ日本なのにこんなに違うのかと驚きました。

○お気に入りの場所は？

一番よく行く場所は自宅からも近い狭野神社で参道を歩くと、とても気持ちがよく散歩コースになっています。また高原町は意外と広くていろんな場所から見渡せる四季折々の霧島連山が気に入っています。

○これからの移住者へのアドバイスは？

まだまだ人にアドバイス出来るほど余裕がありませんが、何かの縁で高原町に住むことになった場合、やはりこの地域の生活習慣、価値観など理解した上で自分のやりたい事を楽しんでやれば良いかと思います。



(中村 昇)

あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスに翻弄され、生業やくらしに大きな影響を受けました。町立病院においては、県の要請を受け、コロナ病床6床を確保し、患者の受け入れを行いました。結果、国からコロナ病床補助金が交付され、令和2年度は町からの繰り入れもなくて済みました。今、病院では経営改革として病床17床の休床を行うなど取り組みが始まっており、今後の経営改善に期待したい。



編集後記